

問1 7世紀の世界のできごとを記した年表において、ムハンマドという人物がアラビア半島でおこしたとされる宗教について、その教義と聖典の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 沖縄公立入試 類似）

- |   |                                       |   |                                  |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|
| 1. 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。 | 2. 救世主としてのイエスを信じ、隣人愛を説き、『新約聖書』を聖典とする。 | 3. 悟りを開くことで苦しみから解放されると説き、多くの『経典』を聖典とする。 | 4. 万物に神が宿ると考え、自然を崇拜し、特定の聖典を持たない。 |
|---|---------------------------------------|---|----------------------------------|

問2 中国の黄河流域で栄えた古代王朝である「殷（商）」において、亀の甲羅や牛の骨に刻んで用いられ、現在の漢字の原型となったとされる文字を何といいますか。（2020年 三重公立入試 類似）

- |         |       |         |         |
|---------|-------|---------|---------|
| 1. 甲骨文字 | 2. 金文 | 3. 楔形文字 | 4. 象形文字 |
|---------|-------|---------|---------|

問3 「主権の源は、もともと国民にある」という主権在民の原則や、人間の自由と平等を高らかにうたった人権宣言が、当時のフランス社会において果たした歴史的な役割や背景として最も適切な説明を選びなさい。（2019年 香川公立入試 類似）

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 絶対王政による専制政治を批判し、市民が政治の主役となる近代社会の指針を示した。 | 2. イギリスの植民地支配から独立するために、新たな連邦国家の建設を正当化した。 | 3. 産業革命による格差の拡大を防ぐため、労働者の団結権や社会権を初めて保障した。 | 4. 国王の権限を法的に制限することで、貴族が中心となって政治を行う立憲君主制を確立した。 |
|--|--|---|---|

問4 日本の旧石器時代における人々の生活様式や文化の特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2017年 群馬県公立入試 類似）

- |   |  |   |   |
|---|--|---|---|
| 1. 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。 | 2. 表面に縄目の文様がある土器を使い、貝塚を作るなど同じ場所に長期間定住して生活していた。 | 3. 大陸から伝わった稲作を行い、収穫した米を蓄えるための高床倉庫や大規模な環濠集落を築いた。 | 4. 青銅器や鉄器などの金属器を使い始め、身分による貧富の差が生まれ、小国が乱立するようになった。 |
|---|--|---|---|

問5 中国の河南省安陽市にある「殷墟（いんきょ）」と呼ばれる遺跡から大量に出土し、当時の王朝の存在を証明する決定打となった史料を、その特徴に基づいて説明しているものはどれですか。（2025年 大阪公立入試 類似）

- |                                     |                                     |                                      |                                  |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料 | 2. ピラミッドの内部に描かれており、王の復活を願う呪文が記された資料 | 3. パピルスと呼ばれる植物の茎から作られた紙に、当時の法律を記した資料 | 4. 竹を細長く割ったものに、官僚の採用試験の内容を記録した資料 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|

問6 現在のイラク付近にあたる、チグリス川・ユーフラテス川流域で成立したメソポタミア文明に関する記述として、正しいものはどれですか。（2017年 岩手県公立入試 類似）

- |   |                                       |  |                                      |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|
| 1. 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で数えられた。 | 2. 定期的に増水するナイル川の氾濫を予測するために、太陽暦が発明された。 | 3. インダス川流域において、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市が築かれた。 | 4. 黄河の流域において、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われた。 |
|---|---------------------------------------|--|--------------------------------------|

問7 紀元前5世紀頃の世界各地の統治形態を比較したとき、当時のギリシャにおける状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 大分県公立入試 類似）

- |  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 1. 有力な王や皇帝が広大な領土を一括して支配する中央集権的な国家が形成されていた。 | 2. ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。 | 3. ピラミッドを建設した王のように、神の化身としての絶対的な権力を持つ個人による統治が主流であった。 | 4. 万里の長城などの大規模な土木作業を国家の総力で指揮する、強力な皇帝による統治が行われていた。 |
|--|---|---|---|

問8 古代中国で成立した「殷」という国家に関する説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 千葉県公立入試 類似）

- |                                   |                               |                                   |   |
|-----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|---|
| 1. 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。 | 2. ナイル川の流域におこり、ピラミッドや神殿を建設した。 | 3. インダス川の流域におこり、計画的な都市や排水施設をつくった。 | 4. チグリス川・ユーフラテス川の流域におこり、太陰暦や六十進法を生み出した。 |
|-----------------------------------|-------------------------------|-----------------------------------|---|

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 唯一神アッラーを信仰し、信者同士の助け合いなどの正しい行いを説き、『コーラン』を聖典とする。	イスラム教は7世紀にムハンマドによって創始されました。唯一神アッラーを信じる一神教であり、その教えは聖典『コーラン』にまとめられています。教義の中では、信仰だけでなく、信者同士の連帯や助け合いといった社会的な実践（善行）も強く推奨されているのが特徴です。
問2	<b>答え 1</b> 甲骨文字	殷の時代には、国家の重要な事柄を占いで決めており、その結果を記録するために亀の甲羅や牛の骨に文字が刻まれました。これがのちの漢字の直接の祖先となり、中国文明の大きな特徴の一つとなっています。
問3	<b>答え 1</b> 絶対王政による専制政治を批判し、市民が政治の主役となる近代社会の指針を示した。	当時のフランスは「アンシャン・レジーム」と呼ばれる古い身分制度により、第三身分である平民が重い税に苦しんでいました。人権宣言は、こうした国王による絶対的な支配や特権階級存在を否定し、すべての人が生まれながらに権利を持つという新しい時代の理念を明確にしたものです。これにより、政治の正当性が国王の神授の権力ではなく、国民の意志に基づくことされる「主権在民」の考え方が広まりました。
問4	<b>答え 1</b> 石を打ち欠いて作った道具を使い、獲物を追って移動しながらテントのような簡易的な住まいで暮らしていた。	旧石器時代はまだ土器が発明されておらず、人々はマンモスやナウマンゾウなどの大型動物を狩るために、移動を繰り返す生活を送っていました。そのため、縄文時代のような定住性の高い堅穴住居ではなく、移動に適した仮住まいを利用していたと考えられています。他の選択肢は、縄文時代（土器・定住）、弥生時代（稲作・金属器・国）の特徴です。
問5	<b>答え 1</b> 亀の甲羅や動物の骨に刻まれており、占いの内容が記録されている資料	殷墟は殷王朝後期の都の跡であり、ここから発見された甲骨によって、伝説上の存在に近かった殷が実在したことが裏付けられました。甲骨には、農作物の豊凶、戦争の成否、天候、王の健康状態などの占いの結果が刻まれており、当時の社会状況を詳しく知ることができる一級の史料となっています。
問6	<b>答え 1</b> 月の満ち欠けの周期を一か月とする暦が作られ、時間は60進法で教えられた。	メソポタミア文明では、天文学が発達し、月の満ち欠けに基づいた「太陰暦」が用いられました。また、角度や時間を測る際に「60進法」が取り入れられており、これは現代の1分が60秒、1時間が60分という仕組みの源流となっています。他の選択肢は、ナイル川流域のエジプト文明、インダス川流域のインダス文明、黄河流域の中国文明に関する説明であり、地理的背景や文化遺産を区別して理解しておく必要があります。
問7	<b>答え 2</b> ポリスと呼ばれる小規模な都市国家が数多く成立し、それぞれが独立して統治を行っていた。	紀元前5世紀頃のギリシャは、エジプトや後に登場する秦・ローマ帝国のような大規模な統一国家ではなく、「ポリス」と呼ばれる自立した都市国家が集まって構成されていました。アテネやスパルタといった各ポリスは独自の統治を行っており、特にアテネでは市民による民主政が発達するなど、広域を支配する君主制とは異なる政治文化を持っていました。
問8	<b>答え 1</b> 黄河流域におこり、亀の甲や牛の骨に文字を刻んで記録を残した。	殷は中国最古の王朝とされる国家で、黄河流域の肥沃な土地を背景に発展しました。占いに使われた文字は、のちに周辺諸国の文化にも大きな影響を与えることとなります。他の選択肢は、それぞれエジプト文明、インダス文明、メソポタミア文明の特徴を説明したものです。